

令和4年3月16日

上富良野町長  
齊藤 繁様

要 望 書

早春の候、貴職におかれましては、町の発展と、町民の福祉向上に傾注されておられますこと、心から敬意を表すものであります。

併せて『町民の声で「かみふ」を創ります』と、町民目線で尽力されていますこと、一町民として感謝申し上げるとともに、ご期待申し上げるところであります。

さて、①町広報3月号に掲載されていた『上富良野町立病院改築整備事業基本設計』「～地域住民の健康を守るため、信頼される病院を目指して～」・②「上富良野町立病院改築基本計画」・③「まちづくりトーク会議結果報告書」・④「昨年3月のパブリックコメント」・⑤「昨年5月の町民ポストの回答」を拝見し、《財源等》及び《災害拠点病院》についてお伺いします。・・・・・・・・・・・・・・・・要望は4ページに記載しています。

《財源について》

①町広報3頁「概算事業費」

概算事業費		
	区分	事業費(千円)
整備費	設計・調査費	198,000
	建設費	3,826,000
	小計	4,024,000
別途工事	設計審査・工事監理	59,000
	地中熱システム工事	1,017,000
	電話・LAN工事、備品・医療機器など	546,000
	小計	1,622,000
合 計		5,646,000

※今後の実施設計や社会情勢により、事業費に変動があることがあります

合 計：56億4600万円

※財源は記載されていません。

② 「上富良野町立病院改築基本計画」(令和3年3月) 30頁には

**IV 新町立病院の事業計画**

**1 事業概算費用**

類似規模の公立病院建設に係る実績額や官庁施設の積算要領等を参考に試算した概算事業費は表1、財源は表2のとおりです。

具体的な建設事業費については、基本設計策定以降の段階で改めて試算します。

表1 (単位：百万円)

事業費区分	内容	金額
建設工事	建設工事費、外構工事費、解体費、設計費、工事監理費等	3,700

※ 備品費を除く

表2 (単位：百万円)

財源内訳	内容	金額
地方債	建設工事等に対し、病院事業において借入れを行う地方債の額 公営企業債、過疎債の活用を検討*	3,300
補助金	建設工事に対し、交付される額	72
自己財源		328
合計		3,700

財源を記載

町立病院改築基本構想 ③ 「まちづくりトーク会議結果報告書」には  
※町民の問い

町立病院が統廃合の対象とされているが、厚生労働省の認可がされるのか。病院の残債や防衛省の交付金の返還、備品機材が入った場合の建設費、財源の確保について伺いたい。病院改築の説明会がまちづくりトークだけで終わり、町民に認知されたものとして事業が進められていくのか。なぜ町長選の直前にこのまちづくりトークを行うのか。選挙で議論され、新しい町長の元で行われるべきではないか

※町の回答

医療機関の再編について、国においては地域医療調整会議で地域のことは決めるとのスタンス。富良野地域医療調整会議で改築計画案を提出し、意見が無かったことから、地域として了承されたものと理解している。現町立病院の返済金は医師住宅の建設費、医療機械の購入費の一部が残っている。また、昭和54年に建てた町立病院は、防衛省の交付金を持って建設している。耐用年数が60年と定められ、残りの耐用年数期間の交付金を返還しなければならないが、今後、防衛省と返還額の圧縮について協議していく。概算事業費は建設費、町立病院や子どもセンターの解体費、設計費など先進地事例や同程度の病院建設の単価を基に計算している。今後の基本計画・基本設計と進むなかで事業費は変わっていく。新病院建設の財源は、営利企業としての位置付けから補助金がほとんどない状況。今のところ地方債で賄われる。有利な財源を研究するとともに、事業費を圧縮していけるようにしていきたい。

④「昨年3月のパブリックコメント」14項には  
※町民の意見

30頁に、建設工事費37億とあり、備品費除く記述してあるが？次のとおり質問します。備品を除くと描かれているのはなぜですか？備品をいれたら相当な額になると思いますが、備品は現病院で使っているものをそのまま使う備品と、新たに購入する備品と整理して購入する部分の概算について記述する必要があると思いますが、なぜ記述していないのかお伺いします。

【町の考え方】

備品費については、院内の配置計画が決まっておらず、積算ができないため、基本設計以降で検討します。

《災害拠点病院について》

⑤「昨年5月の町民ポストの回答」では  
※町民の問い

『上富良野町立病院の改築に伴う、建設予定地敷地内に、建設される新町立病院に至る経路の安心・安全確保の考え方について、町の声を聞かせていただきたい』

【町の考え方】

町の洪水ハザードマップは「石狩川水系富良野川・ベベルイ川・ヌッカクシ富良野川は、富良野川流域の24時間総雨量448mmの降雨による洪水浸水想定指定区域であり、浸水した場合に想定される水深の表示「想定最大規模」を示したもので、市街地の半分近くが浸水することを想定しており、町立病院や役場、かみん周辺は0～0.5mの浸水する恐れのある区域となっています。新町立病院に至る経路の安心・安全確保の考え方については、災害の発生箇所や洪水・泥流などの災害の種類により、交通手段や利用する道路などが選択されることとなります。災害発生時に緊急対応が必要な場合は、消防や自衛隊などの関係機関と連携して、救助、救出、搬送などを行います。町民の皆さまには、まず危険が無いところに避難し、町立病院への経路の安全が確保された後、来院していただくこととなります。

とそれぞれ記載されています。そこで、町民の健康と信頼される病院との思いから《財源等》《災害拠点病院》について、町民に説明していただきたく要望します。

#### 《財源等》

- 1 現町立病院返済金額（医師住宅の建設費、医療機械の購入費の一部）を説明願います。
- 2 防衛庁への返済額及び防衛庁と返済額の圧縮について協議後の交付金返済額を説明願います。
- 3 「基本計画（事業費概算費用の内容）」と「事業基本設計（概算事業費の区分）の何が増額したのか？ 整理・対比して説明願います。
- 4 上富良野町立病院改築整備事業基本設計に記載されていない、財源特に地方債について説明願います。
- 5 地方債の返済計画について説明願います。

#### 《災害拠点病院》

町広報3月号3頁には、建設予定地は、浸水の恐れのある地域であるため、現病院と同じ高さとなるよう、盛土をします。とあります。

ただ、浸水時の新病院に至る経路の安全確保対策及び浸水から安全が確保されるまでの予想期間は、現在改訂中の「上富良野町地域防災計画」にも記載がありません。

町民の安全・安心のため、新病院に至る経路安全確保対策（安全確保までの予想期間含む）について説明願います。